

関中 学校だより



関中学校HPにアクセス

＝ 第 3 3 号 ＝
令和 5 年 2 月 9 日 発行
亀山市立関中学校
文責 岩間（校長）

学校教育目標：豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

本校においてもインフルエンザ等感染症の流行により、学年閉鎖を実施するなど教育活動にも影響が出てきているところです。今後も感染症等による欠席状況を考慮し、学校行事等の変更があれば、適切に対応していきますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

立春も過ぎ、少しずつ春らしい気候となりました。これから先、どの学年にとっても大切な時期です。まだまだ寒い日もありますので、新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症防止はもちろん、風邪などで体調を崩さないよう十分に気をつけて過ごしていきましょう。

3年生は、最後の食育授業で「栄養バランスのよいお弁当」について考えました！

1月23日(3B)と31日(3A)に「栄養バランスのよいお弁当」について考え、弁当づくりのポイントについて学びました。

栄養バランスを考えて食事をとることは、育ち盛りの生徒にとって大切なことです。卒業を控えた3年生にとって、中学校卒業後は、毎日昼食はお弁当となりますね。そして、それを自分で作ることもあるのでしょうか。今回の学習がきっと役立つと思います。家族の方とも話し合ってみましょう。



3年生は、助産師の方々にお越しいただき、「生命」の大切さを学びました！

2月7日(火)の5・6限目に、3年生を対象とした「生命」の講演会が行われました。亀山市のライフプラン事業として、助産師4名にお越しいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりとなりましたが、対面で開催することができました。

「次世代に命をつなぐ、こころとからだ作り」～自分のためにいつか出会う誰かのために～と題した講演では、生命誕生のしくみや性に関する正しい知識やトラブル回避の方法を学びました。また妊婦体験や新生児の抱っこ体験を行いました。この機会を通して、生命や自分や相手を大切にすることについて学ぶことができました。



【生徒の感想より】

- ・生まれてきた確率はとても低く、奇跡なんだということがわかりました。
- ・自分を生んでくれた両親に感謝したいなと思いました。
- ・赤ちゃんの人形を抱っこしてみて、意外に重くてびっくりした。
- ・今日習ったことは、自分も相手も傷つけないために大切だと思った。

全校生徒のみんなの参加で、アルミ缶回収の活動を積極的に行いましょう！

福祉委員会では、主な活動として「アルミ缶回収」を行ってきました。2月13日(月)に今年度最終の回収を行います。この活動で回収したアルミ缶は業者に買い取ってもらい、得た収益金をもとに社会福祉協議会を通じて福祉活動に役立てています。生徒のみなさんがこの目的に賛同し、一人ひとりが意識して回収してほしいと思います。ご家庭の方もご協力ください。

